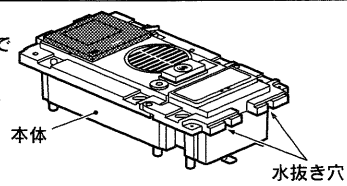
National　マンションHAシステム用 カラーカメラ付ドアホン子器内器（遠隔試験端子付）EJ9600K　施工説明書

EJ9600K

●正しい施工をしていただくため、必ずお読みください。
●施工後、必ず施主様に商品説明をしていただき、施工説明書をお渡しください。
●万一、施工説明書にしたがわず施工された場合の事故や故障などについては責任を負い兼ねることがあります。

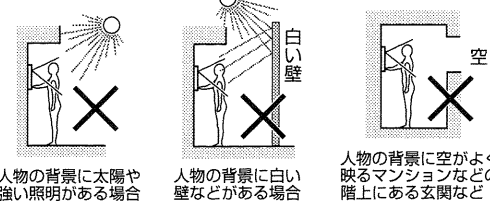
付属品	●施工説明書（本紙）……………1枚 ●感知器台数表示シール………1枚

施工上のご注意

●親機は、Vシリーズ（SHVT・SHVB・SHGT・SHGB・SHG品番）の住戸カメラ付対応機種を使用してください。
ほかの親機との組み合わせでは使用できません。
（WQC・WQD・WQF・WQS・WQR品番は使用できません。）
●親機側の電源（AC100V）を切った状態で施工してください。
活線工事は故障の原因となります。
●インターホンパネル内部に水がたまらないように水抜き工事をしてください。
●電線を地中に埋設する場合は、配管工事を行ってください。
●親機とカラーカメラ付ドアホン子器間の配線を電灯線、電話回線などと平行配線する場合は50cm以上離してください。
音声に雑音が入ったり、映像が乱れる場合があります。
●内器は分解しないでください。故障の原因となります。
●落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
●インターホンパネルは内器に密着するように取り付けてください。
（インターホンパネルが浮いていると、ハウリング（ピー音）が発生する場合があります。）

設置上のご注意

●雨水がかかり易い場所に設置する場合や取付壁面に凹凸がある場合は、インターホンパネルと壁面の間にコーキングをしてください。
この場合下側には水抜き穴がありますので、下側のコーキングはしないでください。
●近くに高出力の無線局などがあると映像や音声が乱れる場合がありますが、故障ではありません。
●50Hz地区では、カメラに直接蛍光灯の光が入ると、映像にチラツキが出ることがあります。
蛍光灯の光を遮るか、インバータ蛍光灯を使用してください。

●次のような場所にはなるべく設置しないでください。

逆光となり、画像が白くなったり、人物が暗くなり訪問者の顔が識別しにくくなります。
また直射日光や強い照明の光などが入ると、画面に白く線が生じたり、太陽光や照明の光による反射模様が発生して、映像が見えにくくなります。

●高温多湿の場所（浴室、サウナなど）へは、取り付けないでください。
●風が直接当たる場所、騒音の大きい場所では、通話音がとぎれて聞き取りにくくなることがあります。

使用上のご注意

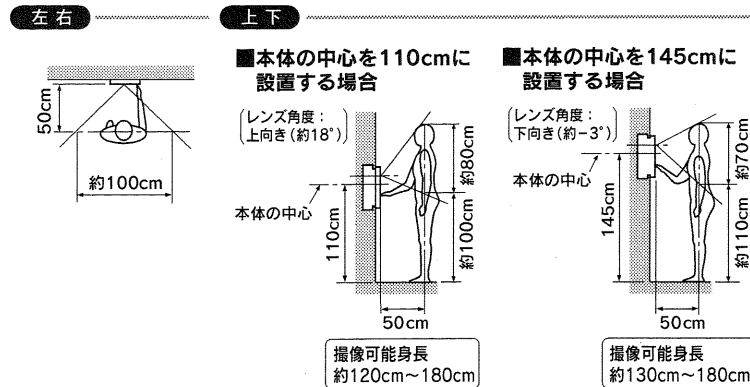
●カラーカメラ付ドアホン子器の画質の設定は親機で行います。
（設定方法は、親機に付属の施工説明書の「画質設定」（SHVT・SHVB品番の場合）、設定マニュアルの「カラーカメラ付ドアホン子器画質設定」（SHGT・SHGB品番の場合）を参照してください。）
●周囲が常に暗い場所では、ほぼ白黒映像になります。
（赤外線照明の照射距離が約50cmのため、それ以上離れている背景などは映し出せません。）
●常にカラー映像で撮像するためには被写体照度は50ルクス以上必要です。
●外気温が急激に下がった場合（降雨後など）、カメラがくもり、映像がぼやけることがありますが、故障ではありません。しばらく放置すると正常に戻ります。
●この商品は防雨構造になっていますが、ホースなどで故意に水をかけないでください。
●冬期、カラーカメラ付ドアホン子器の表面が凍結すると、映像が見えにくくなったり、呼出ボタンが動かないことがありますが、故障ではありません。
●親機については、その商品に付属の説明書をよくお読みください。
●カメラ部の汚れがひどいときは、コップなどで水を数回ゆっくりかけて砂ぼこりなどを洗い流した後、柔らかい布で軽くふいてください。強くこすって傷がつくと、映像が見えにくくなる場合がありますので注意してください。

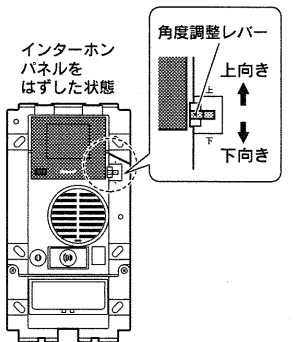
配線方法

配線区間 ＼ 使用電線	HP⌀0.9線	AE⌀0.9線
親機～カラーカメラ付ドアホン子器内器（ME1、ME2、Ⓕ、Ⓛ、Ⓘ、㊀端子）	100m	—
親機～カラーカメラ付ドアホン子器内器～感知器（L、C、SL、SC、ST、STC端子）	—	100m

注 ME1、ME2、Ⓕ、Ⓛ、Ⓘ、㊀端子間は必ず **耐熱電線（HP⌀0.9線）** を使用してください。それ以外はAE⌀0.9線を使用してください。

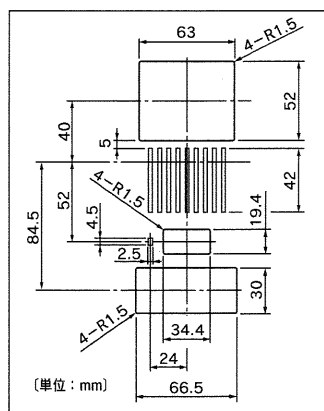
カメラに映る範囲

注 ●撮像範囲はカメラの角度調整によって異なります。
●訪問者が内器正面中央部に立てるよう、内器の設置位置を決めてください。

■角度調整方法

❶インターホンパネルを取りはずす。
（取付方法を参照してください。）
❷角度調整レバーを操作する。
（上向きにする場合は、「上側」に動かす。
下向きにする場合は、「下側」に動かす。）
●角度調整範囲は下向き約−3°～上向き約18°の間で5段階の調整ができます。
（設置高さにあわせて調整してください。）
●出荷時は「上向き約18°」に調整されています。

取付方法

注 ●取付方法はインターホンパネルによって異なります。
●垂直な壁（面）に取り付けてください。

インターホンパネル加工例（適用パネル厚1.2mm～2.0mm）

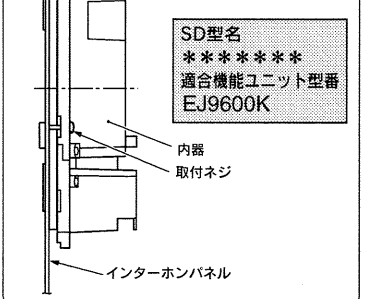
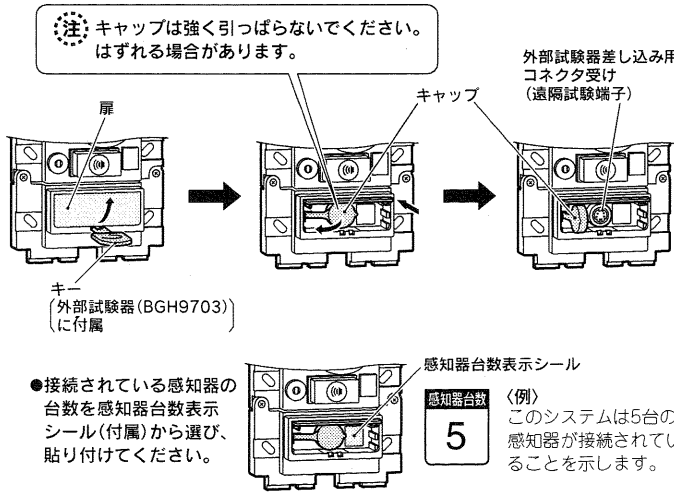
●パネル穴形状および固定方法については、別途打ち合わせをしてください。

■内器固定例

ご注意

●内器のマイク部ゴムパッキンとインターホンパネルは密着するよう取り付けてください。密着していないとハウリングの原因となります。
●内器が、がたつかないように取り付けてください。がたつくと雑音（ビビリ音）の原因となります。
●押ボタンとインターホンパネルが引っ掛からないように取り付けてください。
●インターホンパネル裏面には不織布を貼り付けてください。
貼り付けないと、防水性が確保できなくなります。

扉の開閉方法

注 キャップは強く引っぱらないでください。はずれる場合があります。

●接続されている感知器の台数を感知器台数表示シール（付属）から選び、貼り付けてください。

■仕様

屋外用

定格電圧	カメラ（ME1−ME2）	ドアホン（Ⓘ−㊀）	位置表示（Ⓛ−㊀）	警報表示（Ⓕ−㊀）	中継器
	最大DC22V	DC6V	DC12V		DC6V
	住宅情報盤より供給				外部試験器より供給
消費電流（定格電圧印加時）	カメラ（ME1−ME2）	ドアホン（Ⓘ−㊀）	位置表示（Ⓛ−㊀）	警報表示（Ⓕ−㊀）	中継器
	200mA	4.5mA	2.5mA		39mA
ST-STC間接点容量	DC12V 50mA				
撮像素子	CCD型固体撮像素子				
最低被写体照度	約1ルクス（近赤外発光素子点灯による白黒映像時）				
使用周囲温度	−10℃～+50℃				
寸法	高さ：約202mm　幅：約106mm　奥行：約58mm				
質量	約320g				

■施工後の動作確認方法

●施工後、親機の取扱説明書にしたがって動作の確認を行ってください。戸外点検については外部試験器（別売）に付属の説明書にしたがって確認を行ってください。
●インターホンパネル裏面にSD型式確認番号が明記されたラベルが貼り付けてあることを確認してください。
注 戸外点検時には、親機から警報音は鳴りません。

本社〔〒571−8686〕大阪府門真市大字門真1048　TEL（06）6908−1131（大代表）　松下電工株式会社　HA・セキュリティ事業部　津工場〔〒514−8555〕三重県津市藤方1668　TEL（059）228−1211（代表）

8A3 306 00001　1007-1 Ⓚ Ⓐ